

令和7年12月1日

豊丘村長 下平 喜隆 様
豊丘村教育長 壬生 英文 様

豊丘村議会議長 平澤 恒雄

政 策 提 言 書

貴職におかれましては、数年続いている物価高騰による家計負担等増大による各種の経済支援対策をはじめ、水道管更新事業によるライフラインの整備、村道佐原線改良工事を主体とする村内の生活基盤整備、リニア中央新幹線工事に伴う対応、及びふるさと納税対応など積極的な施策にご尽力いただき、明るく活力ある元気な村づくりに努められておられることに敬意を表します。

当議会では、一般質問などで取り上げた意見や、各種団体との懇談で出された意見等をもとに、常任委員会ごとに、関係機関への聞き取りなどの調査を実施した上で、諸問題について検討を重ねてまいりました。

今回その結果をふまえ、今後の村政に反映していただくよう、議会基本条例に基づき次のとおり提言いたします。

目 次

1. 村内への防犯カメラ設置推進について
2. 保育園給食における地産地消の支援について
3. 「林原公園」を中心とした里山公園の整備について
4. 避難所となる学校体育館および村民体育館への空調設備の設置について
5. 神稲児童クラブの増改築と河野児童クラブプレイルームへのエアコン設置について
6. 一貫道路林里地籍歩道の安全確保について
7. サンシェード設置について

1. 村内への防犯カメラ設置推進について

昨今、全国各地で高齢者や高齢世帯を狙った凶悪な犯罪や、農村部においては、農産物の盗難被害が発生しています。

こうした中、防犯カメラやドライブレコーダーなどでの犯人の映像や、防犯カメラの分析による、逃走経路の割り出しなど、防犯カメラは犯人の早期検挙に有効な決め手となっています。

当村で犯罪が発生した際、時間帯によっては目撃者や通行車両等がない状況も想定されます。防犯カメラ設置は犯人を早期に検挙し、住民の安心安全な生活確保のため、また通学路においては犯罪抑止に有効です。

さらに、山間地においては獣害被害の対策を検討する際、防犯カメラ映像は重要な資料にもなります。

長野県においては、自治組織、市町村を対象とする「長野県警察街頭防犯カメラ設置促進事業補助金交付要綱」があり、これはとりもなおさず防犯カメラの有効性を示しています。

よって、下記のとおり提言します。

記

- (1) 警察等専門家の指導を仰ぎ、必要な個所について村内への防犯カメラ設置を進めること
- (2) 個人や事業所などが防犯カメラを設置する場合には、補助がされるよう制度を創設すること

2. 保育園給食における地産地消の支援について

オーガニックビレッジ宣言をはじめ学校給食の地産地消を推進する市町村が増える中、地元の生産者が米や野菜を小中学校や保育園の給食へ提供する機運が高まっています。

当村の小中学校では給食費のうち、米は地産地消の観点から村内産を使用するため、米飯給食推進事業として村が100%費用負担しています。また、保育園の給食用食材は、村内農家からの買い入れや近隣の方からの提供を受け、野菜は夏で50%、冬は20%、米は100%村内産という現状です。保育園の給食は学校給食法が適用されないため、食材の受け入れがしやすいこともあります。

地産地消の給食は、幼い頃から食に対する関心を深め、地域の農産物に愛着や関心を持つことで、地域の農業を支えることにつながります。しかし、保育園の給食食材調達費は保育園運営費用全体の中で賄っているため、学校給食での米の買い取り価格と同じ水準とすることが難しい現状です。今後も継続して保育園の給食で地産地消を進めていくためには、生産農家のコスト負担への配慮も必要です。

よって、下記のとおり提言します。

記

- (1) 保育園の給食についても地産地消と農業振興の一端として、米飯給食推進事業にて対応すること

3. 「林原公園」を中心とした里山公園の整備について

昭和 61 年度頃に整備された「林原公園」も近年は、体育館・グラウンドは多くの方に利用されていますが、アスレチック場は老朽化し撤去され、公園内木々と周辺の森林は成長し、倒木による危険性が高いものも多くみられます。

また、隣接した北側にはテニスコートと小公園が整備され、アクセス道路である村道佐原線も大きく改良されて、新たな里山公園としての整備が望まれます。

よって、下記のとおり提言します。

記

- (1) 「林原公園」と周辺の森林とため池を含めた地区を、所有者と地域住民の皆様と再検討し、里山公園としての整備を行うこと
- (2) 周辺の森林を含め里山公園整備には、自伐型林業等の技術活用も検討すること
- (3) 地区内にある保安林については、整備計画を作成する中で必要に応じて解除等を検討すること

4. 避難所となる学校体育館および村民体育館への空調設備の設置について

気象庁によると今年の夏は平年と比べると2.36度高く、統計を取り始めてからこれまでに最も高かった去年とおとしを大幅に上回っています。7月30日のロシア／カムチャツカ半島付近で発生した地震による津波避難では、猛暑とも重なり、避難先となった学校体育館の熱中症対策が改めて課題として浮き彫りとなりました。政府の記者会見では、避難中に熱中症で11人が搬送されたとしています。（林官房長官、7月31日）

公立小中学校体育館については、「空調設備臨時特例交付金」や「緊急防災・減災事業債」が活用できます。

また、村民体育館についても指定避難所の空調設備として「緊急防災・減災事業債」が活用できます。

よって、下記のとおり提言します。

記

- (1) 小中学校の体育館に空調設備を設置すること
- (2) 村民体育館に空調設備を設置すること

5. 神稲児童クラブの増改築と河野児童クラブプレイルームへの

エアコン設置について

近年働く保護者が増え、神稲児童クラブにおいては定員の 40 人を超過するというのが当たり前のようになってきました。過去 1 年間の利用実績によると少ない月でも平均 42.6 人、多い月では平均 57.2 人の状況でした。

先日、神稲クラブを社会文教委員会で視察を行った折にも、45 人の児童が、部屋の中で活動しており、狭さを感じました。指導員 3 人で、二つの部屋にいる児童の面倒を見るのは、柱などが死角になってしまい大変とのことでした。

また、令和 6 年度に神稲クラブプレイルームへのエアコン設置がされましたが、河野児童クラブにおいてはまだ設置がなく、猛暑の中暑いプレイルームで遊ばなくてはならず、熱中症への心配が懸念されます。

よって、下記のとおり提言します。

記

- (1) 神稲児童クラブの利用者の増加に伴い、その人数にあった施設となるよう、安全を考慮した増改築をすること
- (2) 河野児童クラブプレイルームにエアコンを設置すること併せて、窓に日差しを遮るカーテンを設置すること

6. 一貫道路林里地籍歩道の安全確保について

竜東一貫道路林里地籍中央保育園西側の歩道について、マルシェオープン以来多くの歩行者が利用する歩道ですが、中央保育園西側の側溝には安全施設の設置がありません。高齢者や特に電動車いす（シニアカーなど）での通行者も多く利用する歩道であるため、安全施設の設置は急務です。

よって、下記のとおり提言します。

記

- (1) 中央保育園西側の歩道に安全施設の設置を早急に行うこと
- (2) 安全施設の設置においては、側溝の維持管理等地元地区と充分協議を行うこと

7. サンシェード設置について

近年は気候変動により、猛暑日が目立って多くなっています。

暑さによる人体への影響は大人だけではなく、子どもたちにも影響があり日々の暮らしや活動にも支障が見受けられます。

特に保育園でもプール参観を中止するなど、園児たちにとって楽しみが奪われています。健全な育成の一環として、屋外で伸び伸びと駆け回り、プールでの活動も楽しく出来ることが望ましいと考えます。

9月のTV番組で東京町田市にある「きそ幼稚園」で暑さ対策として、園庭に「サンシェード」を設置して、子どもたちが元気よく飛びまわっているところが紹介されました。職員1人でセットできる簡単な仕様も紹介されていました。

なしっ子公園でも水辺に暑さ対策の屋根が設置されたように、これからは園活動の場所にも暑さ対策を講じて、園児や子どもたちが暑さに負けないように活動できる環境整備が必要と考えます。

よって、下記のとおり提言します。

記

- (1) プールおよび園庭に暑さ回避対策として「サンシェード」を設置すること